

平成30年5月16日

平成30年度第1回京都市明るい選挙推進協議会総会（摘録）

1 日 時 平成30年5月16日（水）午後2時から午後3時30分

2 場 所 職員会館かもがわ1階 第1会議室

3 出席者

(1) 委員（◎は会長，○は副会長 敬称略）

京都大学名誉教授	◎木下 富雄
立命館大学名誉教授	○村山 皓
ジャーナリスト	木下 明美
日本放送協会京都放送局放送部長	佐藤 愛彦
株式会社京都放送報道局長	南 哲也
第15回京都学生祭典実行委員会実行委員長	喜馬 爽
京都市選挙管理委員会委員長	内海 貴夫
〃 委員長職務代理者	松野 公一郎

(2) 事務局

京都市選挙管理委員会事務局長	小田 久人
〃 次長	石田 忠彦
〃 選挙課担当課長	柴田 洋志
〃 選挙課啓発係長	丸山 智也
〃 選挙課書記	松村 朋香

4 摘録

(1) 挨拶

(2) 委員及び事務局の自己紹介

(3) 協議

○平成29年度明るい選挙推進事業の実施結果について

事務局：「平成29年度明るい選挙推進事業実施状況報告書（平成30年3月31日現在）」資料に基づき説明。

委員：ポスター募集の29年度の応募数が28年度に比べて100件ほど少ない。この原因は何か。

事務局：28年度に100件ほどの応募をしていただいた学校が1校あったが、29年度はその学校からの提出がなかったことが主な要因である。

委員：ポスター募集と論文コンクールの応募については、現場の先生がどう扱うかを最終的に決定するため、こちらで誘導しにくいのが現状である。

事務局：昨年度から教育委員会の指導主事に依頼して、教員向けの研修会での周知にご協力いただいている。選管としては、このような機会を通じてできる限り現場の先生への周知を行っていきたいと考えている。

- 委員 : 出前授業は選管職員が出向いて授業を行っているのか。
- 事務局 : その通りである。
- 委員 : 啓発に関して費用対効果を調べることは難しいが、それぞれの事業を評価することは重要であり、そのために件数の推移や資料なども示すべきではないか。
- 事務局 : 今後検討させていただく。
- 委員 : 31年度に行われる指定都市リーダーフォーラムは、京都市が担当することとなっているが、どのようなことを行うのか。
- 事務局 : フォーラムは(公財)明るい選挙推進協会との共催で2日間の日程で行われ、あらかじめ各指定都市に照会した議題についての意見交換や情報共有を行い、2日目の一部の時間で講演を行っている。京都市は会場の手配や議題のとりまとめなどの事務的な役割を担うほか、2日目の講演の内容を検討する。講演の内容に関しては、現在、木下会長と調整を進めているところである。

○平成30年度京都市明るい選挙推進事業計画について

- 事務局 : 「平成30年度明るい選挙推進事業計画」資料に基づき説明。
- 委員 : 昨年度は京都学生祭典のプレイベントにおいて、投票箱を設置したゆるキャラの人気投票などを行っていただいた。とても人気があり、多くの人が投票に訪れていた。市民向けイベント等における啓発や学生団体と連携した啓発はとても効果があると思うので、これからも続けていただきたいと思う。
- 委員 : 投票は国民の義務ではなく権利である。投票に行くことの大切さについて、どう教育していくかが重要である。
- 委員 : 若者の投票率が低いことの原因は、「誰に投票したらいいのかわからない」ことからくる興味・関心の低さだと思う。投票率を上げるためには、その課題について考えていくべき。若者にとって投票は身近な存在ではない。
- 委員 : そもそも、投票のしくみの実態に合っていない。現代はスマートフォンでなんでもできる時代で、買い物などもすべてスマートフォンで行える。「誰かに決められた日時・場所に行く」という行為自体が「面倒」という認識の社会になってきている。
- 一方で、スマートフォンで投票ができれば投票率の向上は期待できるが、その実現のためには費用やセキュリティなど、超えるべき課題がたくさんあるのは事実である。今の制度で投票率の向上を考えていくためには、「投票箱を有権者に近付ける」工夫が必要になってくるのではないか。その意味では、イオンモールでの期日前投票所の設置や山間部での移動投票所などは良い例だと思う。
- また、ポスター募集や論文コンクールについては、長い歴史のある尊重すべき事業だと思うが、効果が無いと判断されるようであれば、何か新しい事業に変えるなど、試行錯誤することも必要なのではないかと思う。18歳から20代の若い世代の関心を高めていくことが必要

で、ネットで盛り上がるのが重要な時代である。

(4) その他

○啓発事業の審査員について

事務局 : (論文コンクール及びポスター募集, 選挙時の啓発事業プロポーザルにおける審査員について)

ポスター募集については布部副会長に, 論文コンクールについては, 布部副会長, 木下明美委員に審査員をお願いしており, また, 選挙執行時, プロポーザルにより啓発事業等を決定する審査員については, 木下会長, 木下明美委員, 喜馬委員, 米田委員をお願いしているところである。引き続き今年度もよろしくお願ひしたい。

(5) 内海委員 (京都市選挙管理委員会委員長) 挨拶

(15 : 30 終了)